



喜志西小学校



向陽台小学校



向陽台小学校



喜志西小学校

■日頃の練習の成果を披露！笑顔輝く運動会！

6月1日、2日、市立小学校で運動会が開催されました。

児童たちは、保護者や同級生などからたくさんの声援を受けながら、リレーや綱引き、玉入れなどの各競技に全力で臨んでいました。また、この日のために練習を重ねてきた団体演技を元気いっぱい披露すると、会場からは大きな拍手と歓声が送られました。



■看護の心を伝えた1日

5月18日、済生会富田林病院で、看護フェアが開催されました。これは、同病院の看護部が毎年実施しているもので、第10回目となる今回は睡眠をテーマに、睡眠健康指導士による睡眠セミナーの他、身体測定やマジックショーなど多彩なイベントが実施され、多くの来場者でにぎわいました。来場者に話を聞くと「看護師さんが優しく、親切丁寧に教えてくれて、とても分かりやすかった」と喜んでおられました。

■緑の小道をウォーキング！

5月19日、彼方小学校をスタート・ゴール地点に、ライフ・チャレンジ・ザ・ウォークが開催されました。多くの家族連れや友達同士などが参加し、3㎞、5㎞、7㎞の3コースに分かれたコースをそれぞれペースで、元気よく歩いていました。

また、コース途中に設置されたポイントでは、ゲームを楽しんだり、クイズにチャレンジしたりしていました。



写真とともに見る5月～6月のできごと



※写真は重ね撮りしたものです。

■夜空に浮かぶホタルの光

6月1日、2日、農業公園サバーファームで、東條ホタル観賞のつどいが開催されました。

2月に子どもたちが放流したゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの幼虫が成長し、同ファーム内の小川や池で、幻想的な光を放っていました。手のひらの上にホタルがとまって大喜びする子どもの姿なども見られ、参加者たちはホタルが奏でる光の饗宴を、時間が経つのも忘れて見入っていました。

■被災地の復興を願って

6月5日、桜井町の田んぼで、東日本大震災の被災地、岩手県大槌町で津波に負けず穂をつけた稲をルーツに持つ「奇跡の復興米」の田植えが実施され、喜志小学校の5年生や早乙女姿の保護者ら約100人が被災地の復興を願って苗を1つ1つ丁寧に植えました。参加した児童は「田植えは初めてだったけど面白かった。お米を大槌町の人においしいと食べてもらえるように大切に育てていきたい」と話していました。



■歌人、露子を偲んで

6月8日、重要文化財旧杉山家住宅などで、第9回「石上露子生誕祭」が開催されました。

これは、6月が富田林寺内町出身の明星派歌人、石上 露子の誕生月にあたることにちなみ企画されたもの。

生誕祭セシモノーでは、優雅な^{しょう}箏曲の演奏がされる中、露子の写真にお茶とお花が供えられました。訪れた人たちは、露子に思いを馳せながら、それらの厳かな儀式に見入っていました。

■たくさんあそんだね

6月9日、四天王寺悲田富田林苑で、ひだまりまつりが開催されました。これは、子育て中の保護者とその子どもが交流できる「つどいの広場ひだまり」が毎年開催しているもの。

ひだまりが10周年を迎えたことを記念して開催された今回はたくさんの家族が訪れ、腹話術や人形劇などの舞台を楽しむとともに、トランポリンやダンボール迷路などの遊具で、子どもたちは夢中になって遊んでいました。

